

グローバル・メタバース株式ファンド

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2024年1月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「グローバル・メタバース株式ファンド」は、2024年1月22日に第2期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年3月31日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・メタバース株式ファンド	「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・メタバース株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・メタバース株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・メタバース株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<645061>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース)		株組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 中率	(参考指数)	期騰落 中率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2022年3月31日	10,000	—	—	100.00	—	—	3,229
1期(2023年1月20日)	6,984	0	△30.2	81.78	△18.2	97.0	4,343
2期(2024年1月22日)	12,409	0	77.7	143.08	75.0	98.2	6,316

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 「FactSet Metaverse Industries Index」は、ファクトセット社が開発した世界のデジタル環境の創造と実現を手掛ける企業の株式で構成された指数です。なお、設定時を100として2024年1月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース)		株組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2023年1月20日	6,984	—	81.78	—	97.0
1月末	7,625	9.2	87.50	7.0	97.4
2月末	7,872	12.7	89.96	10.0	96.9
3月末	8,367	19.8	97.09	18.7	96.4
4月末	8,079	15.7	95.43	16.7	97.9
5月末	9,369	34.1	111.11	35.9	97.4
6月末	10,388	48.7	117.38	43.5	97.5
7月末	10,753	54.0	122.42	49.7	97.9
8月末	10,200	46.0	121.97	49.1	98.3
9月末	9,710	39.0	119.43	46.0	97.7
10月末	9,470	35.6	118.78	45.2	98.1
11月末	11,424	63.6	132.45	62.0	98.0
12月末	12,538	79.5	134.07	63.9	97.8
(期末)					
2024年1月22日	12,409	77.7	143.08	75.0	98.2

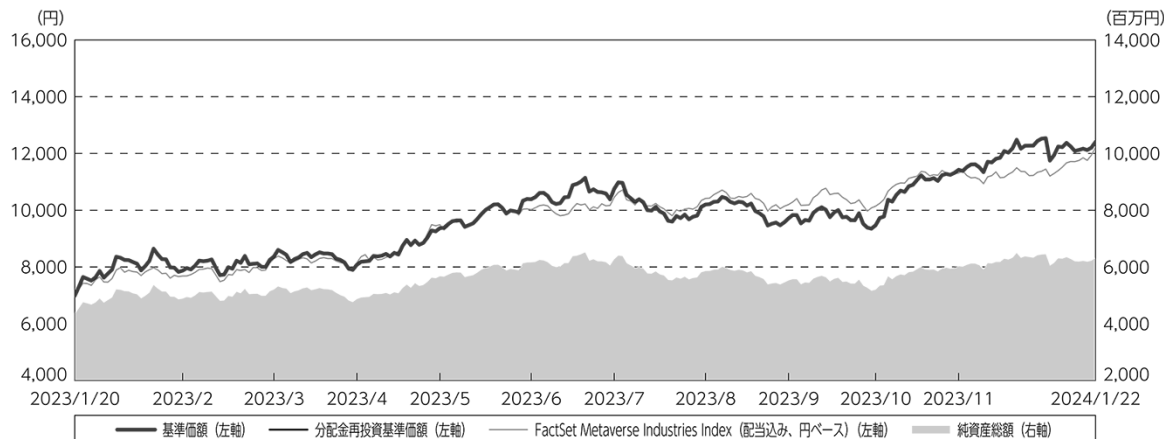
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2023年1月21日～2024年1月22日)

期中の基準価額等の推移



期 首：6,984円

期 末：12,409円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：77.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFactSet Metaverse Industries Index(配当込み、円ベース)は、期首(2023年1月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) FactSet Metaverse Industries Index(配当込み、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・米国連邦準備制度理事会(FRB)による利上げサイクル終了の観測が強まったこと。
- ・人工知能(AI)が様々な業種に浸透し、イノベーションの促進や効率性の向上、複雑な課題への対処に役立てられ、半導体メーカーにとって追い風となったこと。
- ・暗号資産市場の好調な推移や、暗号資産業界における新たな規制によって市場環境の安定化や機関投資家からの資金流入の期待が高まったこと。

<値下がり要因>

- ・一部の保有銘柄においてマクロ経済面の圧力などが響いて企業収益が市場予想を下回り、株価が低迷したこと。
- ・消費者心理の低迷を受けて電子機器や高級品セクターなどの保有銘柄の株価が低迷したこと。

投資環境

(株式市況)

世界の主要株式市場は、強弱入り混じる経済シグナルやFRBの次の政策動向を巡る見通しに左右される展開となり、ボラティリティ（変動性）の高い市場環境となりました。期間中、FRBは利上げを4回実施しましたが、2023年7月の利上げを最後にその後は金利を据え置きました。FRBはインフレ抑制に重点を置いていることから、株式市場の動きは毎月の消費者物価指数（CPI）の結果に大きく左右され、総合インフレ率が市場予想を下回ると市場が好反応を示し、逆に上振れすると株価が下落する傾向が見られました。また、雇用統計にも投資家の注目が集まりました。株式市場は2023年末にかけて上昇しましたが、2024年は不安定なスタートとなりました。中国発のニュースがまちまちな内容となったことも、ボラティリティを高める要因となりました。

今後の市場動向は、FRBの政策や世界経済を巡る根強い先行き不透明感の影響を受けやすい状況が続くとみられます。消費者心理の低迷や個人貯蓄率の低さも、市場環境の不透明感が増す要因となっています。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル・メタバース株式マザーファンド)

期間中の投資行動としては、暗号資産分野に進出していくための投資を行っており、ユーザーによる暗号資産の交換・送金や、所有するNFTや暗号資産の閲覧を可能にするウォレットのアプリを提供するRobinhood Markets（金融サービス）を、新規に組み入れました。当ファンドでは、デジタル資産のエコシステムは拡大していくとみており、この投資テーマ全体が引き続き追い風になるとみています。

厳しいマクロ環境のなかユーザー基盤の維持に成功しているピンタレスト（メディア・娯楽）についても、新規に組み入れました。eコマースや広告事業を通じてユーザー基盤を収益化する独自のポジションにあり、世界のデジタル経済の成長を可能にしていると評価しています。

また、スポティファイ・テクノロジー（メディア・娯楽）も、新規購入しました。2022年にオンラインゲーム・プラットフォーム上にメタバースを立ち上げ、このようなプラットフォームに進出する初めての音楽ストリーミング・ブランドとなりました。以来、インタラクティブ体験を生み出し続けています。

一方、ミュージックス（テクノロジー・ハードウェアおよび機器）を全売却しました。当ファンドでは、経済情勢全般を考慮すると、OEM事業および低迷している消費者向けAR（拡張現実）市場の見通しは悪化していることから売却し、状況が変化した場合には継続的に再び分析していくことが賢明と判断しました。

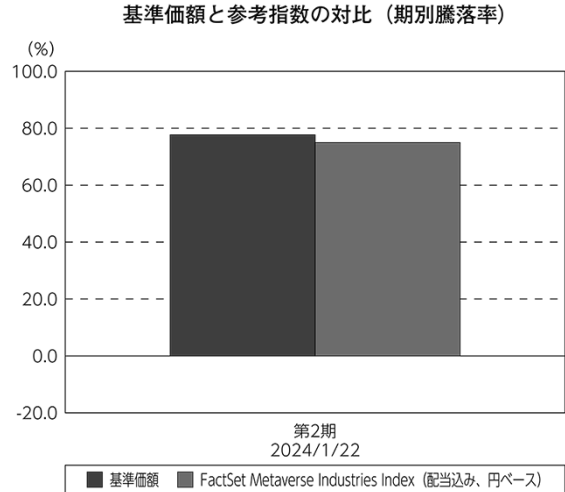
また、イマージョン（テクノロジー・ハードウェアおよび機器）については、相場上昇局面での分散化戦略の一環として、メタバースにおいてより重要とみられる上述のテクノロジーに資産を配分するため、保有を解消しました。

さらに、高級品小売のマクロ環境を踏まえて同分野の投資配分引き下げのため、アディダス（耐久消費財・アパレル）およびケリング（耐久消費財・アパレル）についても全売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FactSet Metaverse Industries Index（配当込み、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2023年1月21日～ 2024年1月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,103

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル・メタバース株式マザーファンド)

メタバースとは、高い双方向性を持ったオンライン体験を世界中の人々に提供するための、新しいテクノロジーの集合体であると考えています。AR、VR（仮想現実）、Web3.0（ブロックチェーン（分散型台帳技術）技術によってデジタルオーナーシップと相互運用性が備わった次世代インターネット）、次世代ハードウェアといった単一の技術ではなく、これらの技術が融合することによって実現される次世代のインターネットこそがメタバースであり、これが新たな消費者向けのオンライン体験の波を作り出していくと考えています。

人々がより多くの時間をオンライン上で過ごすようになるにしたがって、オフラインでの消費は今後10年以内に頭打ちする可能性があると考えています。AR/VRや次世代のハードウェア、インフラによる没入型の体験、そしてブロックチェーンによるデジタルオーナーシップ（デジタル上の所有権）の実現により、消費者はデジタル資産の価値を徐々に評価するようになり、最終的には現実の資産と同等以上とみなすようになると考えています。当ファンドでは、オンライン消費額が2030年までに12兆アメリカドル超にまで拡大する可能性があると考えています。

メタバースは決して短期的な投資アイデアではありません。現在、メタバースは初期段階にあり、関連技術のイノベーションが進み始めたところですが、初期の活用事例はデジタル・エンターテインメントを中心に展開されると考えています。そして時間の経過とともに規制や法律がデジタルオーナーシップに追いつき、バーチャル世界の領域が、デジタルツイン（仮想空間に現実空間と同じ環境を再現する技術）、AI/機械学習やシミュレーション、労働のトレーニングと能力開発などに応用され、ビジネスでの活用事例が拡大するとみられます。

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 1月21日～2024年 1月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 174	% 1.808	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(85)	(0.885)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(85)	(0.885)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.036	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.036)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	11	0.118	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(7)	(0.075)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	188	1.964	
期中の平均基準価額は、9,649円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

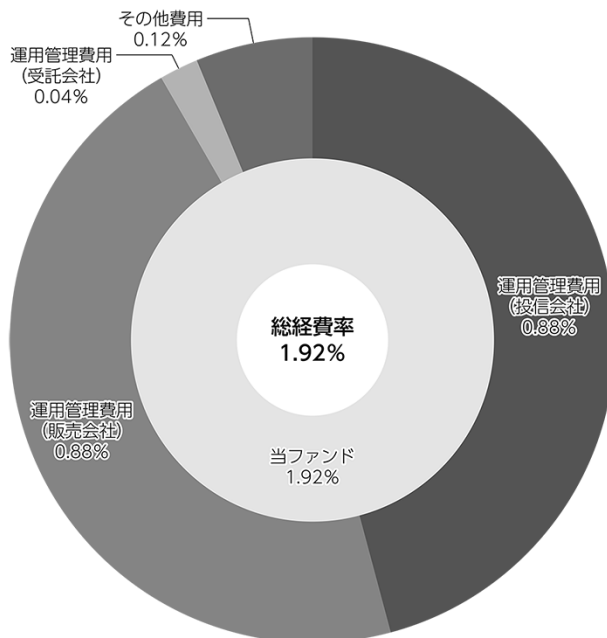
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月21日～2024年1月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・メタバース株式マザーファンド	199,842 千口	168,664 千円	1,376,663 千口	1,393,293 千円

○株式売買比率

(2023年1月21日～2024年1月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	グローバル・メタバース株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	5,212,364千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,437,232千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.95	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月21日～2024年1月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年1月21日～2024年1月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年1月21日～2024年1月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年1月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・メタバース株式マザーファンド	6,040,760	4,863,939	6,234,111

(注) 親投資信託の2024年1月22日現在の受益権総口数は、4,863,939千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・メタバース株式マザーファンド	6,234,111	97.4
コール・ローン等、その他	166,101	2.6
投資信託財産総額	6,400,212	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・メタバース株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,787,800千円)の投資信託財産総額(6,234,007千円)に対する比率は92.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=148.20円、1ユーロ=161.52円、1香港ドル=18.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,400,212,704
コール・ローン等	166,101,613
グローバル・メタバース株式マザーファンド(詳細額)	6,234,111,091
(B) 負債	83,513,970
未払解約金	25,310,228
未払信託報酬	53,842,947
未払利息	50
その他未払費用	4,360,745
(C) 純資産総額(A-B)	6,316,698,734
元本	5,090,607,572
次期繰越損益金	1,226,091,162
(D) 受益権総口数	5,090,607,572口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,409円

(注) 当ファンドの期首元本額は6,219,566,275円、期中追加設定元本額は638,769,377円、期中一部解約元本額は1,767,728,080円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.2409円です。

○損益の状況 (2023年1月21日～2024年1月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 27,997
受取利息	165
支払利息	△ 28,162
(B) 有価証券売買損益	2,714,753,939
売買益	3,192,680,900
売買損	△ 477,926,961
(C) 信託報酬等	△ 105,744,678
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,608,981,264
(E) 前期繰越損益金	△ 1,029,680,470
(F) 追加信託差損益金	△ 353,209,632
(配当等相当額)	(599,208)
(売買損益相当額)	(△ 353,808,840)
(G) 計(D+E+F)	1,226,091,162
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,226,091,162
追加信託差損益金	△ 353,209,632
(配当等相当額)	(809,813)
(売買損益相当額)	(△ 354,019,445)
分配準備積立金	1,579,300,794

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2023年1月21日～2024年1月22日の期間に当ファンドが負担した費用は33,215,187円です。

(注) 分配金の計算過程(2023年1月21日～2024年1月22日)は以下の通りです。

項 目	2023年1月21日～ 2024年1月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	16,202,935円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,563,097,859円
c. 信託約款に定める収益調整金	809,813円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,580,110,607円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,103円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2023年1月21日から2024年1月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第21条、第22条、第23条、第28条)
- 当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第4条、第57条)

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・メタバース株式マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2024年1月22日）
（2023年1月21日～2024年1月22日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2022年3月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<639175>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース) (参考指数)		株組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2022年3月31日	10,000	—	100.00	—	—	3,149
1期(2023年1月20日)	7,008	△29.9	81.78	△18.2	99.6	4,233
2期(2024年1月22日)	12,817	82.9	143.08	75.0	99.5	6,234

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 「FactSet Metaverse Industries Index」は、ファクトセット社が開発した世界のデジタル環境の創造と実現を手掛ける企業の株式で構成された指数です。なお、設定時を100として2024年1月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FactSet Metaverse Industries Index (配当込み、円ベース) (参考指数)		株組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首)	円	%		%	%
2023年1月20日	7,008	—	81.78	—	99.6
1月末	7,673	9.5	87.50	7.0	99.6
2月末	7,939	13.3	89.96	10.0	99.6
3月末	8,466	20.8	97.09	18.7	98.8
4月末	8,179	16.7	95.43	16.7	99.4
5月末	9,522	35.9	111.11	35.9	98.7
6月末	10,589	51.1	117.38	43.5	98.8
7月末	10,985	56.7	122.42	49.7	99.6
8月末	10,428	48.8	121.97	49.1	99.5
9月末	9,936	41.8	119.43	46.0	99.2
10月末	9,703	38.5	118.78	45.2	99.6
11月末	11,754	67.7	132.45	62.0	99.3
12月末	12,938	84.6	134.07	63.9	99.4
(期末)					
2024年1月22日	12,817	82.9	143.08	75.0	99.5

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年1月21日～2024年1月22日)

基準価額の推移

期間の初め7,008円の基準価額は、期間末に12,817円となり、騰落率は+82.9%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）による利上げサイクル終了の観測が強まったこと。
- ・人工知能（AI）が様々な業種に浸透し、イノベーションの促進や効率性の向上、複雑な課題への対処に役立てられ、半導体メーカーにとって追い風となったこと。
- ・暗号資産市場の好調な推移や、暗号資産業界における新たな規制によって市場環境の安定化や機関投資家からの資金流入の期待が高まったこと。

<値下がり要因>

- ・一部の保有銘柄においてマクロ経済面の圧力などが響いて企業収益が市場予想を下回り、株価が低迷したこと。
- ・消費者心理の低迷を受けて電子機器や高級品セクターなどの保有銘柄の株価が低迷したこと。

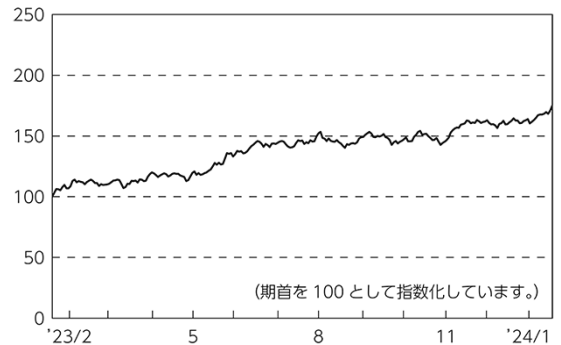
基準価額の推移



基準価額（指数化）の推移



FactSet Metaverse Industries Index（配当込み、円ベース）（指数化）の推移



(株式市況)

世界の主要株式市場は、強弱入り混じる経済シグナルやFRBの次の政策動向を巡る見通しに左右される展開となり、ボラティリティ（変動性）の高い市場環境となりました。期間中、FRBは利上げを4回実施しましたが、2023年7月の利上げを最後にその後は金利を据え置きました。FRBはインフレ抑制に重点を置いていることから、株式市場の動きは毎月の消費者物価指数（CPI）の結果に大きく左右され、総合インフレ率が市場予想を下回ると市場が好反応を示し、逆に上振れすると株価が下落する傾向が見られました。また、雇用統計にも投資家の注目が集まりました。株式市場は2023年末にかけて上昇しましたが、2024年は不安定なスタートとなりました。中国発のニュースがまちまちな内容となったことも、ボラティリティを高める要因となりました。

今後の市場動向は、FRBの政策や世界経済を巡る根強い先行き不透明感の影響を受けやすい状況が続くとみられます。消費者心理の低迷や個人貯蓄率の低さも、市場環境の不透明感が増す要因となっています。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中の投資行動としては、暗号資産分野に進出していくための投資を行っており、ユーザーによる暗号資産の交換・送金や、所有するNFTや暗号資産の閲覧を可能にするウォレットのアプリを提供するRobinhood Markets（金融サービス）を、新規に組み入れました。当ファンドでは、デジタル資産のエコシステムは拡大していくとみており、この投資テーマ全体が引き続き追い風になるとみています。

厳しいマクロ環境のなかユーザー基盤の維持に成功しているピントレスト（メディア・娯楽）についても、新規に組み入れました。eコマースや広告事業を通じてユーザー基盤を収益化する独自のポジションにあり、世界のデジタル経済の成長を可能にしていると評価しています。

また、スポティファイ・テクノロジー（メディア・娯楽）も、新規購入しました。2022年にオンラインゲーム・プラットフォーム上にメタバースを立ち上げ、このようなプラットフォームに進出する初めての音楽ストリーミング・ブランドとなりました。以来、インタラクティブ体験を生み出し続けています。

一方、ビュージャックス（テクノロジー・ハードウェアおよび機器）を全売却しました。当ファンドでは、経済情勢全般を考慮すると、OEM事業および低迷している消費者向けAR（拡張現実）市場の見通しは悪化していることから売却し、状況が変化した場合には継続的に再び分析していくことが賢明と判断しました。

また、イマージョン（テクノロジー・ハードウェアおよび機器）については、相場上昇局面での分散化戦略

の一環として、メタバースにおいてより重要とみられる上述のテクノロジーに資産を配分するため、保有を解消しました。

さらに、高級品小売のマクロ環境を踏まえて同分野の投資配分引き下げのため、アディダス（耐久消費財・アパレル）およびケリング（耐久消費財・アパレル）についても全売却しました。

○今後の運用方針

メタバースとは、高い双方向性を持ったオンライン体験を世界中の人々に提供するための、新しいテクノロジーの集合体であると考えています。AR、VR（仮想現実）、Web3.0（ブロックチェーン（分散型台帳技術）技術によってデジタルオーナーシップと相互運用性が備わった次世代インターネット）、次世代ハードウェアといった単一の技術ではなく、これらの技術が融合することによって実現される次世代のインターネットこそがメタバースであり、これが新たな消費者向けのオンライン体験の波を作り出していくと考えています。

人々がより多くの時間をオンライン上で過ごすようになるにしたがって、オフラインでの消費は今後10年以内に頭打ちする可能性があると考えています。AR／VRや次世代のハードウェア、インフラによる没入型の体験、そしてブロックチェーンによるデジタルオーナーシップ（デジタル上の所有権）の実現により、消費者はデジタル資産の価値を徐々に評価するようになり、最終的には現実の資産と同等以上とみなすようになると考えています。当ファンドでは、オンライン消費額が2030年までに12兆アメリカドル超にまで拡大する可能性があると考えています。

メタバースは決して短期的な投資アイデアではありません。現在、メタバースは初期段階にあり、関連技術のイノベーションが進み始めたところですが、初期の活用事例はデジタル・エンターテインメントを中心に展開されると考えています。そして時間の経過とともに規制や法律がデジタルオーナーシップに追いつき、バーチャル世界の領域が、デジタルツイン（仮想空間に現実空間と同じ環境を再現する技術）、AI／機械学習やシミュレーション、労働のトレーニングと能力開発などに応用され、ビジネスでの活用事例が拡大するとみられます。

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 1 月21日～2024年 1 月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 4 (4)	% 0.037 (0.037)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.039 (0.039)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	8	0.078	
期中の平均基準価額は、9,842円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月21日～2024年1月22日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 30	千円 38,747	千株 37	千円 161,221
	アメリカ	百株 4,006	千アメリカドル 13,783	百株 5,212	千アメリカドル 19,606
外国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	0.56	9	34	544
	フランス	3	16	47	716
	香港	4	千香港ドル 80	173	千香港ドル 3,186

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2023年1月21日～2024年1月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,212,364千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,437,232千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.95

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月21日～2024年1月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年1月21日～2024年1月22日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2024年1月22日現在)

国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
機械 (9.8%)				
セガサミーホールディングス		26.2	20.2	43,339
電気機器 (16.5%)				
ソニーグループ		6.3	4.9	72,520
その他製品 (29.1%)				
任天堂		18	15.8	128,027
情報・通信業 (44.6%)				
ネクソン		37.3	33.6	77,364
L I N Eヤフー		—	20.6	9,888
スクウェア・エニックス・ホールディングス		10.7	7	40,306
カプコン		23.5	12.2	68,637
合 計	株 数 ・ 金 額	122	114	440,081
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	7	< 7.1% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
CLOUDFLARE INC-CLASS A	153	157	1,281	189,895	ソフトウェア・サービス	
ENDEAVOR GROUP HOLD-CLASS A	288	130	319	47,340	メディア・娯楽	
NIKE INC -CL B	89	64	655	97,215	耐久消費財・アパレル	
PINTEREST INC- CLASS A	—	266	988	146,544	メディア・娯楽	
PURE STORAGE INC - CLASS A	217	350	1,435	212,718	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ROBLOX CORP -CLASS A	649	877	3,396	503,398	メディア・娯楽	
SEA LTD-ADR	31	107	391	57,974	メディア・娯楽	
SHOPIFY INC - CLASS A	326	282	2,262	335,317	ソフトウェア・サービス	
SNAP INC - A	956	909	1,492	221,231	メディア・娯楽	
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	—	41	840	124,628	メディア・娯楽	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	119	113	1,291	191,398	半導体・半導体製造装置	
THE WALT DISNEY CO.	42	35	328	48,670	メディア・娯楽	
TWILIO INC - A	164	276	2,029	300,794	ソフトウェア・サービス	
UNITY SOFTWARE INC	716	1,030	3,415	506,212	ソフトウェア・サービス	
ADOBE INC	32	8	528	78,396	ソフトウェア・サービス	
ADVANCED MICRO DEVICES	132	97	1,702	252,270	半導体・半導体製造装置	
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	47	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
AMAZON.COM INC	46	37	578	85,777	一般消費財・サービス流通・小売り	
ANSYS INC	—	3	127	18,828	ソフトウェア・サービス	
APPLE INC	58	44	861	127,609	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
AUTODESK INC	35	17	439	65,184	ソフトウェア・サービス	
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	322	230	2,873	425,851	金融サービス	
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	34	48	1,422	210,812	ソフトウェア・サービス	
META PLATFORMS INC-CLASS A	58	73	2,806	415,975	メディア・娯楽	
IMMERSSION CORPORATION	961	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROSOFT CORP	31	24	971	144,044	ソフトウェア・サービス	
NETFLIX INC	41	11	576	85,386	メディア・娯楽	
DRAFTKINGS INC-CL A	267	145	546	81,025	消費者サービス	
NVIDIA CORP	101	15	944	139,918	半導体・半導体製造装置	
OKTA INC	17	14	121	17,984	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	60	47	725	107,557	半導体・半導体製造装置	
ROBINHOOD MARKETS INC - A	—	905	969	143,738	金融サービス	
SYNOPTIS INC	—	8	447	66,392	ソフトウェア・サービス	
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	77	66	1,089	161,440	メディア・娯楽	
VUZIX CORP	1,571	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株 数 ・ 金 額	7,653	6,447	37,864	5,611,534	
	銘柄 数 < 比 率 >	30	32	—	< 90.0% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
ADIDAS AG	32	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
MYNARIC AGNAMENS AKTIEN O N	38	36	75	12,260	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	70	36	75	12,260	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	< 0.2% >	
(ユーロ…フランス)						
KERING	11	—	—	—	耐久消費財・アパレル	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(ユーロ…フランス) UBISOFT ENTERTAINMENT	百株 172	百株 139	千ユーロ 276	千円 44,663	メディア・娯楽
小計	株数・金額 184	139	276	44,663	
	銘柄数<比率>	2	—	<0.7%>	
ユーロ計	株数・金額 255	176	352	56,923	
	銘柄数<比率>	4	2	<0.9%>	
(香港) MEITUAN-CLASS B(N)	12	—	千香港ドル —	—	消費者サービス
NETEASE INC	299	175	2,430	46,062	メディア・娯楽
TENCENT HOLDINGS LTD	128	95	2,576	48,822	メディア・娯楽
小計	株数・金額 439	270	5,007	94,885	
	銘柄数<比率>	3	2	<1.5%>	
合計	株数・金額 8,348	6,893	—	5,763,343	
	銘柄数<比率>	37	36	<92.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年1月22日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 6,203,425	% 99.5
コール・ローン等、その他	30,582	0.5
投資信託財産総額	6,234,007	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(5,787,800千円)の投資信託財産総額(6,234,007千円)に対する比率は92.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=148.20円、1ユーロ=161.52円、1香港ドル=18.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,234,007,826
コール・ローン等	30,432,118
株式(評価額)	6,203,425,708
未収配当金	150,000
(B) 負債	1
未払利息	1
(C) 純資産総額(A－B)	6,234,007,825
元本	4,863,939,371
次期繰越損益金	1,370,068,454
(D) 受益権総口数	4,863,939,371口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,817円

(注) 当ファンドの期首元本額は6,040,760,531円、期中追加設定元本額は199,842,819円、期中一部解約元本額は1,376,663,979円です。

(注) 2024年1月22日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・グローバル・メタバース株式ファンド 4,863,939,371円

(注) 1口当たり純資産額は1,2817円です。

○損益の状況 (2023年1月21日～2024年1月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,208,411
受取配当金	19,210,711
受取利息	4
支払利息	△ 2,304
(B) 有価証券売買損益	3,208,561,783
売買益	3,383,981,110
売買損	△ 175,419,327
(C) 保管費用等	△ 2,256,770
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,225,513,424
(E) 前期繰越損益金	△1,807,636,486
(F) 追加信託差損益金	△ 31,178,736
(G) 解約差損益金	△ 16,629,748
(H) 計(D+E+F+G)	1,370,068,454
次期繰越損益金(H)	1,370,068,454

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年1月21日から2024年1月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第19条、第20条、第21条、第26条)